

平成22年度 「学校教育自己診断」結果報告

学校協議会事務局

はじめに

平成22年度「学校教育自己診断」の集計結果ができました。今年度の「学校教育自己診断」は、生徒・保護者について新たな質問項目を設定し、実施しました。

集計結果を分析し、本校の現状や課題を明らかにして、来年度に向けた改善・改革の方向をまとめましたので、ここに報告いたします。

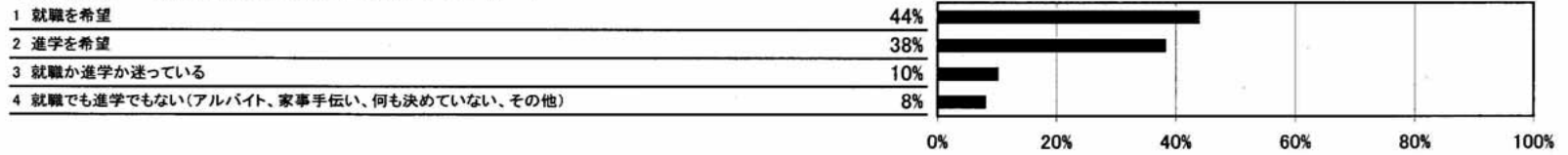
実施方法と回収(率)の状況

	実施時期	対象者数	提出者数	回収率
生徒	11月上旬	499	446	89%
保護者	11月上旬	499	191	38%

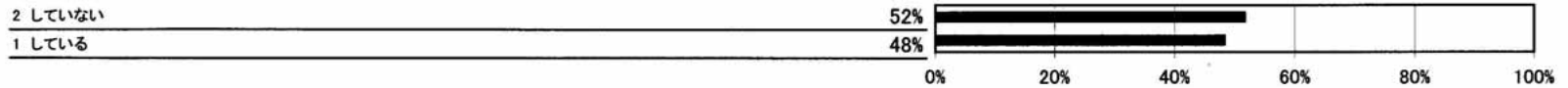
今年度、学校教育自己診断票の回収率は、生徒全体が89%（昨年度79% 一昨年度72%）、保護者全体が38%（昨年度32% 一昨年度29%）でした。

生徒の集計結果より

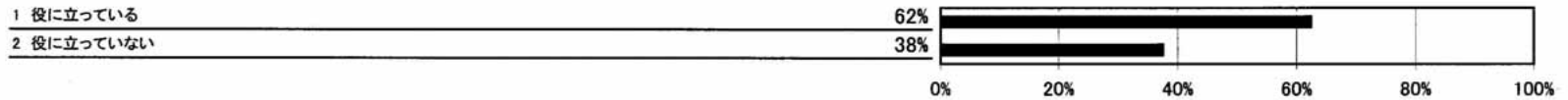
【質問1】 卒業後の進路志望は何ですか？



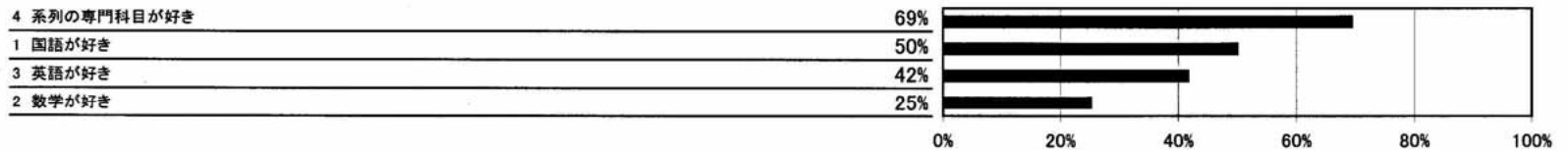
【質問2】 卒業後の進路のための準備をしていますか？



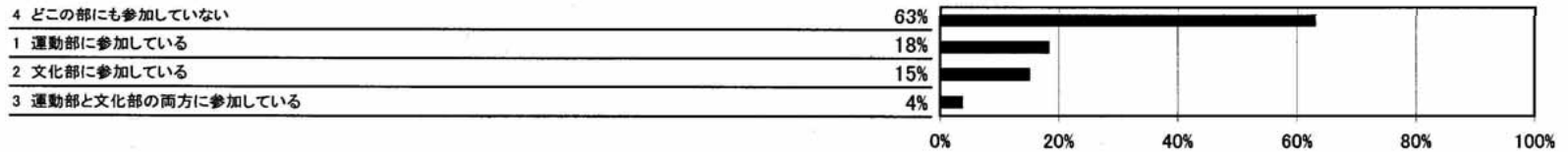
【質問3】 卒業後の進路に対して、成城高校での授業や実習は役に立っていると思いますか？



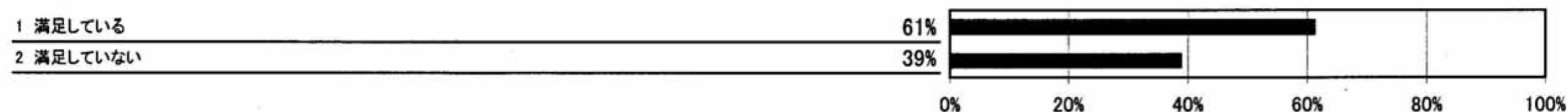
【質問4】 次の教科について好きか嫌いかを教えてください。



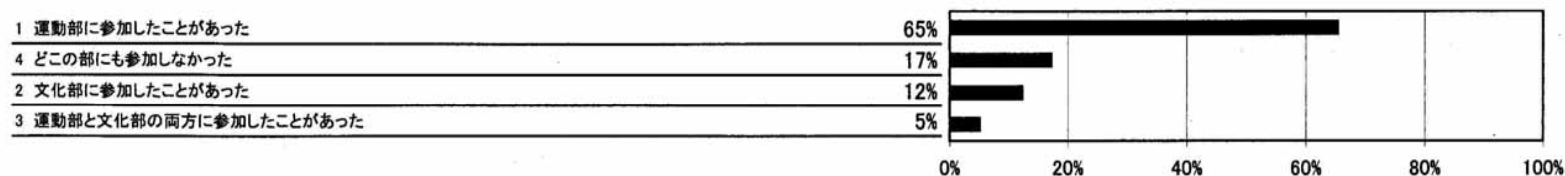
【質問5】 あなたは現在、部活動に参加していますか？



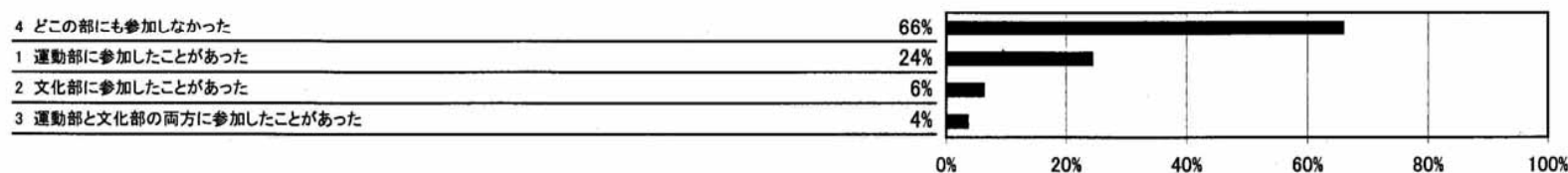
【質問6】 活動に満足していますか？



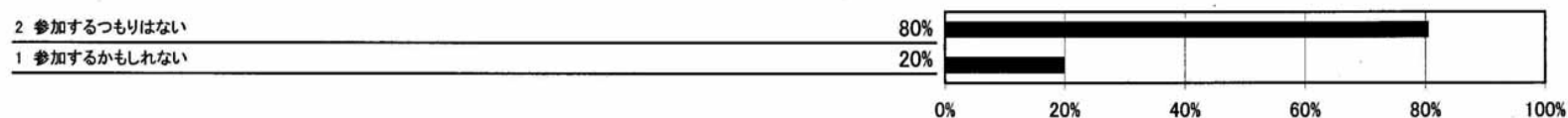
【質問7】 中学校時代は、部活動に参加した経験はありますか？（現在、どの部にも参加していない生徒への質問）



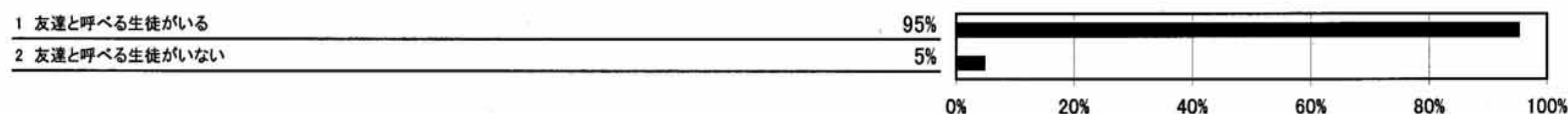
【質問8】 成城高校に入学してから、部活動に参加した経験はありますか？（現在、どの部にも参加していない生徒への質問）



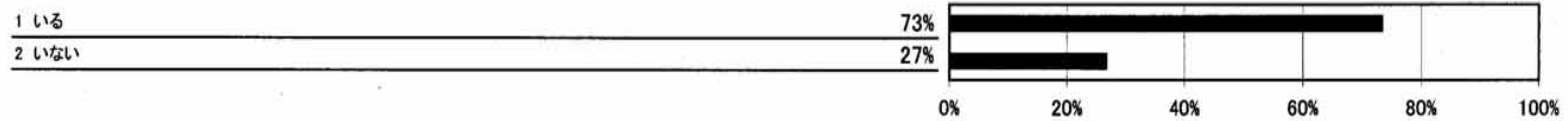
【質問9】 これから成城高校の部活動に参加したいと思っていますか？（現在、どの部にも参加していない生徒への質問）



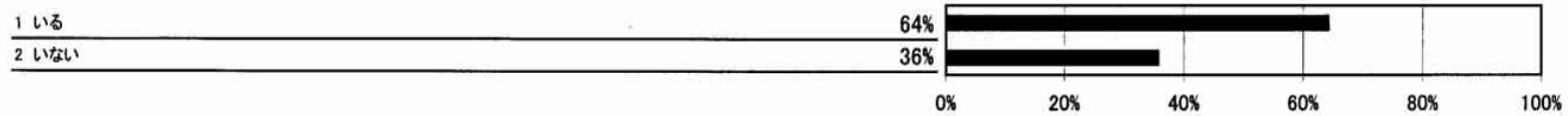
【質問10】 成城高校の生徒の友達について教えてください。



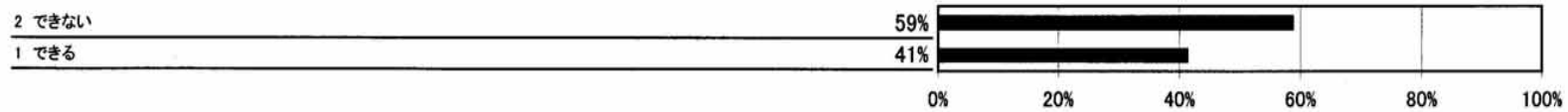
【質問11】 成城高校の生徒で嫌いな人がいますか？



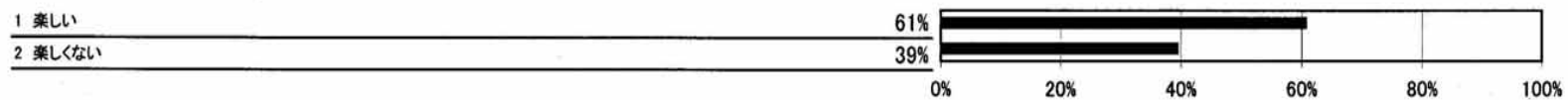
【質問12】 成城高校の教員で、相談できる先生はいますか？



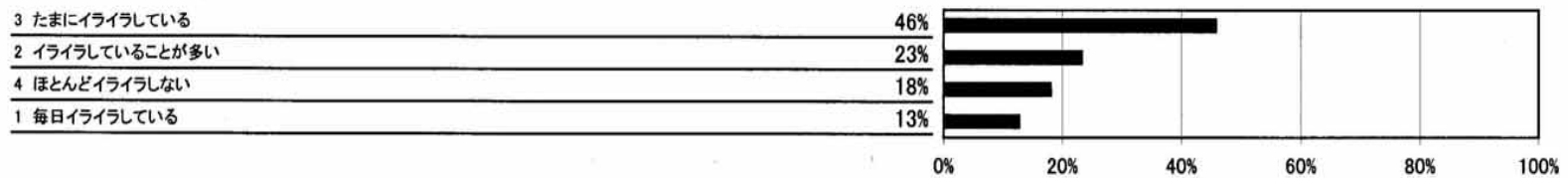
【質問13】 学校ではリラックスできますか？



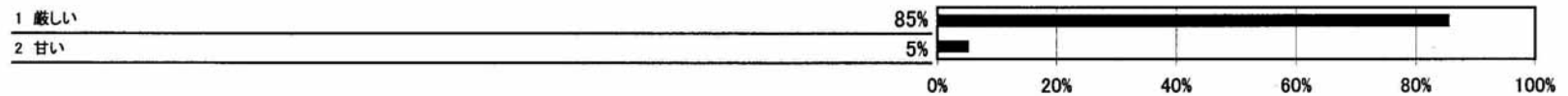
【質問14】 学校は楽しいですか？



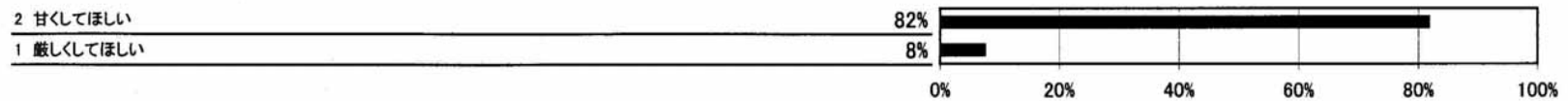
【質問15】 学校にいるときイライラしますか？



【質問16】 成城高校の規則は厳しいですか？甘いですか？



【質問17】 学校の規則を今より厳しくしてほしいですか？それとも今より甘くしてほしいですか？



- * 本校の場合、生徒の「進学」「就職」希望の割合は、ほぼ同じという結果がでました。しかし、自分の進路を叶えるための準備をしている生徒は、半数にも及ばないという結果がでました。
生徒に進路決定をさせてから卒業式を迎えてもらうためにも、早い時期から準備させるよう具体的な方策を検討中です。

今後の取組み

「進路決定力のある学校」を実現するために、以下の取組みを強化します。

- ・基礎学力の定着を図る取組み
- ・マナー指導の継続
- ・全教職員で生徒の進路先の開拓
- ・就職指導開始時期を、3年次5月 2年次1月に変更

- * 卒業後の進路に対して、成城高校での授業や実習が「役に立っている」と感じている生徒は、約60%という結果がでています。また、「系列の専門科目」が好きと答えた生徒は約70%ですが、「国・数・英」が好きと答えた生徒は50%以下でした。進学にも就職にも重要である一般教科において、今後より一層、生徒に興味・関心を持たせる授業を行います。

今後の取組み

生徒が学校に来ることを楽しみに感じるような授業を行うために、以下の取組みを実践します。

- ・教職員が生徒に対して、授業に取組む姿勢（授業規律）を継続指導
- ・授業アンケートによる授業改善

- ・進路に希望を与えるための系列見直し（ものづくり系列に工業デザインコースを新設予定）
- ・基礎学力の定着を図るための講座設定（学びなおし「学習ソフト」の導入）

- * 現在、部活動に参加している生徒数は、37%という結果がでています。また、部活動に参加している生徒の約40%は、部の活動に「満足していない」という結果がでています。
- さらに、現在、部活動に参加していない生徒も、中学校時代には80%以上の生徒が部活動に参加していたという結果がでています。また、成城高校に入学してから部活動に参加した経験のある生徒が約35%いるという結果もでています。
- 本校がめざしている「部活動の盛んな学校」を実現するためにも、いろいろな方策を検討して実践していきます。

今後の取組み

部活動を活性化させ、生徒に充実した高校生活を送らせるために、以下の取組みを行います。

- ・教職員（顧問）による「熱心な指導」を継続して実践
- ・部活動紹介の継続実施（年複数回）
- ・重点部（クラブ）の設定を検討
- ・部活動の単位認定を検討
- ・部活動活性化委員会を創設

- * 成城高校の生徒で、「友達と呼べる生徒がいない」と答えた生徒が約5%います。また、「学校でリラックスできない」と答えた生徒が約60%います。そして、学校にいるとき「イライラしていることが多い」「毎日イライラしている」と答えた生徒は、合わせて約36%います。
- 一方、「成城高校の教員で相談できる先生がいる」と答えた生徒は約64%、「学校が楽しい」と答えてる生徒は約60%と、もっと充実させていかなければいけない結果がでています。

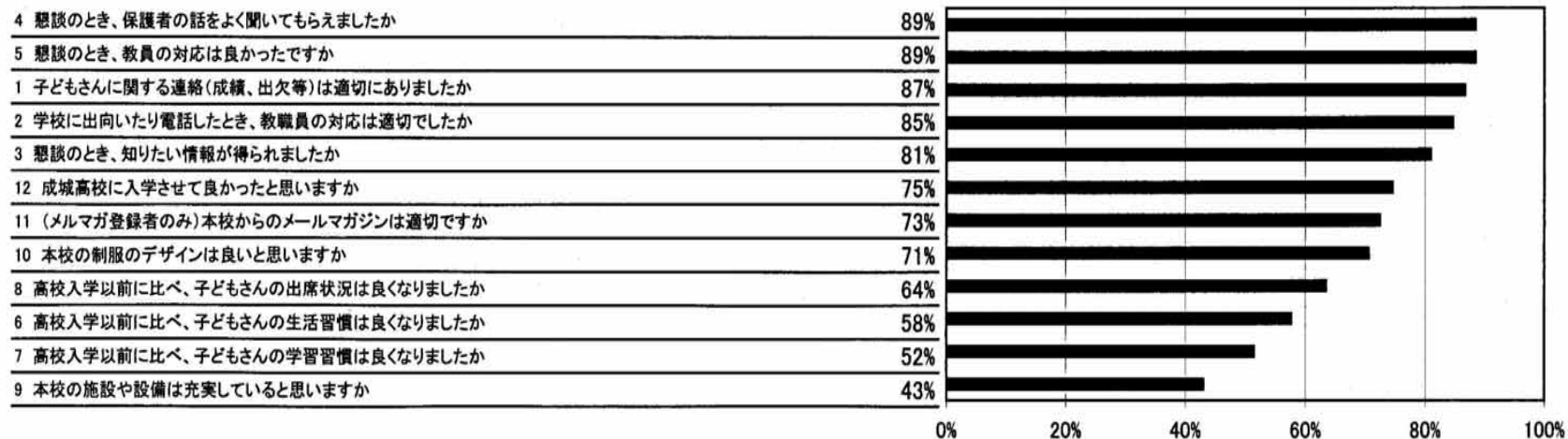
今後の取組み

「生徒がイキイキしていて、学校へ行くのが楽しい。」と言える学校を実現するために、以下の取組みを充実させます。

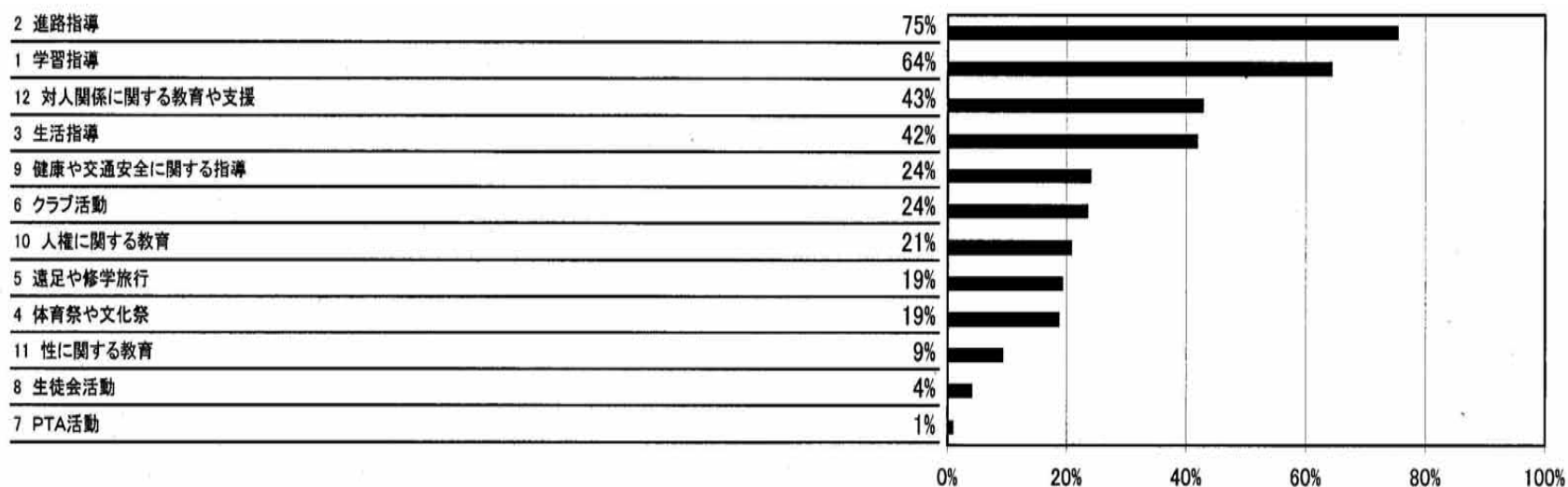
- ・生徒が安心して、しっかり高校生活を送れる環境づくり
- ・教育活動のあらゆる場面において、生徒との対話による指導
- ・対人関係に関する教育などの検討
- ・教育相談や支援体制の一層の充実

保護者の集計結果より

成城高校に対する評価（保護者）「良いと思う」と「少し良いと思う」を合わせた%



成城高校の教育活動について、とくに期待する（または重要と思われる）もの



- * 成城高校に対する評価の中で、「懇談のとき、保護者の話をよく聞いてもらえましたか」(担任傾聴)「懇談のとき、教員の対応は良かったですか」(担任対応)「子どもさんに関する連絡(成績、出欠等)は適切にありましたか」(担任連絡)「学校に出向いたり電話したとき、教職員の対応は適切でしたか」(職員対応)「懇談のとき、知りたい情報が得られましたか」(担任情報提供)について、「良いと思う」「少し良いと思う」を合わせて80%超の高い評価を得ています。これは、本校の「担任の頑張り」によるものと言っても過言ではないと考えます。
- また、「成城高校に入学させて良かったと思う」と答えた保護者は約75%で、「メールマガジン」「制服のデザイン」についても70%以上の結果がでています。
- 一方、本校がより一層重点的に指導を行っていかねばならないものとして、生徒の出席状況・生活習慣・学習習慣の改善があげられます。これは、保護者が「成城高校の教育活動について、とくに期待する(または重要と思われる)もの」の上位2つである「進路指導」「学習指導」と一致するものです。

今後の取組み

一人でも多くの保護者の方々に「成城高校に子どもを入学させて良かった」と思ってもらえるように、以下の取組みを実践し、学校づくりに全教職員で邁進していきます。

- ・「学力保障」「進路保障」確立のための方策を検討・実施
- ・遅刻指導の検討・実施
- ・保護者とさらにきめ細かな連絡・連携
- ・情報発信の充実

おわりに

今年度の「学校教育自己診断」の結果報告は、以上の通りです。

学校が行う生徒への指導だけでなく、保護者の皆様による家庭教育や地域の方々による日々の見守りがあってこそ、学校を拠点とした種々の取組みが行えます。今後とも、より一層の保護者・地域の方々のご協力をよろしく申し上げます。